

■建学の理念・精神

1. 建学の精神

孔子の教えすべてが本学の建学の精神であるが、特に『論語』の章句より「義を行い以てその道に達す（行義以達其道）」（季氏篇）を選び出し、学是としている。本学の目指す「義」の精神は、「義」を行うことによって自分自身を切り開いていくことである。また「義を行う」とは、人間として為すべき使命を果たすことであり、端的に言えば理想を抱きながら現実の変革のために行動することにほかならない。

儒学に説かれる「徳」とは、誰もが人間として、人とともに生きるためのさまざまな力である「人間力」であり、人間としての思いやり、優しさ、そして何よりも人間の使命感をもって、人のために行動する力こそ「人間力」である。そうした観点に立って、知識のための知識ではなく、「行義」の二字に込められた実践知、人間力を身につける人格の形成と教育を通じ、広く社会に儒学思想・倫理を啓発普及させることが本学の教育理念となっている。

2. 使命と目的

本学は、建学の精神である儒学を根幹として、世界の平和と人類の福祉を基調とする経済学ならびに社会福祉学を教育・研究することを目的とし（学則第2条）、「基礎的専門性を備えた学士」を養成するため、次のような到達目標（学位授与方針〈ディプロマ・ポリシー〉）を設定し卒業判定を行っている。

- ①建学の精神である儒学を理解し、義を行わんとする強い意欲と寛容の精神をもつこと。
- ②教養として文化・社会・自然等に関する知識や社会人として必要な語学・ICT（情報コミュニケーション技術）など汎用的な技術と能力を身につけ、社会人としての態度・倫理観・社会的コミュニケーション能力をもつこと。
- ③地域社会への貢献や異文化の理解と国際交流に努める能力と意志をもつこと。
- ④これらの知識・技能・態度等を総合的に動員できる応用力・創造力をもつと同時に、生涯を通して学習に励み教養を深めることができるようになっていること。

3. 大学の個性と特色

本学では、初年次教育、GPA(Grade Point Average)、学習ポートフォリオ、学生記録等、教育制度の整備を進めているが、そのなかでも特色と言えるのは、演習（ゼミナール）を中心とする少人数教育である。両学部とも全学年で学生はゼミに所属し、経済経営学部では平均10人程度、健康福祉学部においても平均6～7人程度の学生数でゼミが運営されている。

正課教育以外の課外活動においては、人間力あるいは社会人としての基礎力育成のための活動として、学生が目的を持って自己実現を図ることを目指すさまざまな活動を支援している。それらは正課教育と相まって、学生の自立心を養い、問題解決能力とコミュニケーション能力を高めることを目指したものである。

また、本学は、教育・研究活動と同時に地域への社会貢献を重要な大学の使命としており、地域の中で地域に貢献し地域と共に生きる大学を目指し、地域のイベント（七夕祭り等）、行政等の依頼による調査事業などを実施し、地域への公開講座、高大連携などを積極的に行っている。

更に、本学は留学生教育と国際交流を重視しており、時代が要請する大学の国際化を進めると同時に、地域の国際化を図る拠点としての役割を担っている。本学は儒学を建学の精神とすることからアジアの諸大学との交流が深く、中国語と韓国語を専門とする教員の比重も高い。留学生も中国・韓国等、アジア諸国から多く留学してきており、大学の国際化が進んでいる。また留学生は、地域の各種イベントへの参加、小学校など教育機関の訪問等、地域での国際交流に欠かせない役割を果たしている。

■教育研究上の基本組織

①学部構成と名称

大学等	学部	学科
東日本国際大学	経済経営学部	経済経営学科
	健康福祉学部	社会福祉学科
	留学生別科	

②学部の特徴

経済経営学部は、9 コース制（企業・経営コース、経済・金融コース、公務員・教職コース、グローバル人材育成コース、スポーツマネジメントコース、AI・情報システムコース、観光マネジメントコース、エジプト考古学マネジメントコース、留学生コース）とゼミ教育を有機的に結びつけた教育を行うため、教養科目、共通専門基礎科目、専門科目及び資格・教職課程等に関する科目というカリキュラム編成を行い、次の目的を掲げている。

- ①教養科目と専門科目等を楔形に配置し、教養、共通専門基礎、専門等の科目の内容が有機的に結びつけられるようにしている。
- ②教養科目として、地域社会および国際社会で活躍できる人材の育成のために外国語、国語力・論述力の育成をはかる科目、学部の特性を考慮したユニークな科目を設定している。
- ③共通専門基礎科目として、経済および経営に関する必修科目を中心にどのコースにおいても必要な経済経営の基礎的な知識と技術を習得できるようにしている。
- ④専門科目として、各コースに特有の専門性の高い科目を配置し、専門的知識と能力を修得できるようにしている。

健康福祉学部は、社会情勢の変化とともに、福祉専門職を目指す学生のほかに、社会福祉全般について学び地域社会に貢献したいという学生も広く受け入れている。そのため、福祉ソーシャルワークコース、スポーツ健康コース、心理コース、介護福祉士コースの4コースを設定している。

カリキュラムは、社会福祉士・精神保健福祉士、介護福祉士の国家試験受験資格取得に必要な指定科目のほか、資格取得を目指さない学生に対しても柔軟に対応できるよう、教養科目、専門基礎科目、共通専門科目、資格関連科目で編成されている。

- ①教養科目は、基礎的なコミュニケーションスキルや学習スキルを身につける科目のほか、視野を広げ人間洞察力を高めることにつながる科目で構成されている。
- ②共通専門基礎科目では、福祉援助を必要とする人々について学ぶとともに、社会福祉をめぐる基礎的知識・制度・思想・倫理などの理解を深めることを目指している。
- ③専門科目では、相談援助に必要な基礎的知識・技術・価値・倫理について学び、各自の進路に応じてこれらの知識・技術・価値・倫理を身につけていくことを目指している。
- ④専門科目の実習教育では、地域の福祉施設・機関との契約・連携のもと、相談援助活動の実際について体系的に学ぶとともに、実習先の選択は、将来の進路選択につながるように配慮している。
- ⑤各学年の少人数ゼミでは、4年間を通して、主体的に学ぶ態度、積極的に発言する力及び討論を通して他者の考えを聞く力、興味ある課題を発見する力、課題を専門的に探究する力を育成している。
- ⑥国家資格である社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士を目指す学生を対象とした受験セミナーを開講している。

■教員組織、教員数、教員の業績等

①教員数、専任教員一人あたりの学生数

(H30. 5. 1 現在)

学部等	専任教員数(A)		非常勤教員数(B)		専任比率 (A)/(A)+(B)	学生数(C)	専任教員一人あ たりの学生数 (C)/(A)
	男	女	男	女			
経済経営学部	21	3	16	3	55.8%	491	20.4
健康福祉学部	11	5	7	2	64.0%	198	12.3
東洋思想研究所	4	0	0	0			
エジプト考古学研究所	2	0	0	0			
留学生別科	0	2	5	5	16.7%	45	22.5

②専任教員の職位、専任教員と非常勤教員の比率

(H30. 5. 1 現在)

学部	学科等	専任教員				助手	非常勤 教員	比率 専任:非常勤
		教授	准教授	講師	計			
経済経営学部	経済経営学科	13	7	3	23	1	19	24:19
健康福祉学部	社会福祉学科	9	5	2	16	0	9	16:9
	東洋思想研究所	1	3	0	4	0	0	—

	エジプト考古学 研究所	2	0	0	2	0	0	-
	留学生別科	0	2	0	2	0	10	2:10
計		25	17	5	47	1	38	23:19

③専任教員の年齢構成

(H30. 5. 1 現在)

学 部	学科等	30 歳以下	31～40 歳	41～50 歳	51～60 歳	61 歳以上	計
経済経営学部	経済経営学科	0	3	5	9	7	24
健康福祉学部	社会福祉学科	0	4	4	3	5	16
	東洋思想研究所	1	1	1	0	1	4
	エジプト考古学 研究所	0	0	0	2	0	2
	留学生別科	0	0	1	1	0	2
計		1	8	11	15	13	48

④教員が有する学位

【経済経営学部】

(H30. 5. 1 現在)

氏名	職位	学位	職名	専門分野	担当科目
吉村 作治	教授	博士(工 学)	学長	史学関係	基礎演習Ⅰ、エジプト文明論、地域活性論、比較文明論、 エジプトの発掘
福迫 昌之	教授	修士(社会 学)	副学長	社会学関係	情報社会と倫理、コミュニケーション、情報メディア、観光 サービス産業論・演習、復興学
三重野 徹	教授	学士(理 学)	学部長 学科長	商学・経済学 関係	基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、経営戦略、経営 分析、経営情報、経営組織、ビジネスマネジメント
二見 順	教授	博士(工 学)		社会・自然科 学関係	コンピュータ演習ⅠA・B、コンピュータ演習ⅡA、基礎演習 Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
浅井 義彦	教授	博士(工 学)	学生部長 教育実習 センター長	工学関係	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、プログラミング A・B、宇宙と先端技術、教職実践演習(高)、教育実習、情 報処理入門、Web デザイン
山田 紀浩	教授	博士(行政 学)	学生副 部長	法学・政治学 関係	専門演習Ⅱ、卒業研究、韓国語ⅠA・B、韓国語ⅡA・B、ア ジア事情(中国・韓国)、市民社会論
倉田 貢	教授	博士(哲 学)	図書 館長	文学関係	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ、英語ⅠA・B、文章理解Ⅰ、英語 ⅡA・B、上級英語ⅠA・B、英語講座(英国)Ⅰ・Ⅱ、英語文 化、哲学概論、倫理学、英語と多元的言語世界

田村 立波	教授	修士(文学)		文学関係	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、アジア事情(中国・韓国)、日本事情、中国語ⅠA・ⅠB、中国語ⅡA・ⅡB、日本社会基礎、日本社会理解A・B、中国語講座Ⅰ(中国)Ⅰ・Ⅱ
大槻 雅彦	教授	学士(法学)		商学・経済学関係	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、金融、経済情報、環境経済、統計
山内 芳文	教授	博士(教育)		教育学関係	教育原理、指導要領演習A・B、教育制度
中野 信子	教授	博士(医学)		医学関係	脳科学基礎論
矢邊 均	教授	修士(法学)		法学・政治学関係	基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、文章理解Ⅰ 公務員試験対策講座、民商法、教職実践演習(高)、文章理解Ⅱ、法と憲法、政治学、行政法
玉永公子	教授	修士(教育学)		教育学関係	教育心理学、心理学、児童心理学、心理学理論と心理的支援、臨床心理学、家族心理、学校カウンセリング、心理療法Ⅰ・Ⅱ
竹内 茂	准教授	学士(工学)		工学 その他関係	専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、インターンシップ、コンピュータ演習ⅡB、シミュレーション、経営情報処理、情報システム演習
三浦 秀樹	准教授	修士(経済学)		商学・経済学関係	専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、基礎演習Ⅱ、簿記Ⅰ・Ⅱ、教職実践演習(高)、簿記検定2・3級、公務員試験対策講座、上級簿記
大関 貴久	准教授	学士(体育学)	柔道部長兼監督	体育関係	スポーツⅠA・ⅠB、スポーツボランティア、スポーツマッサージ スポーツ科学演習B、スポーツヒーピング
城山 陽宣	准教授	博士(文学)		文学関係	基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、論語を学ぶⅡ、日本語ⅡA・B、日本社会基礎、論語素読A、自己啓発とキャリア形成
河合 伸	准教授	博士(経済)	教務副部長	商学・経済学関係	基礎演習Ⅱ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、数の処理、経済入門、公共経済、交通経済、平和経済A・B、公務員試験対策講座
ノーマン・リー・ダウド	准教授	修士(経営学)		商学・経済学関係	英語ⅠA・B、英語と多元的言語世界
岩戸謙介	准教授	修士(経済)		商学・経済学関係	基礎演習Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ、文章理解Ⅰ、日本経済、経済原論、経済政策、国際経済、教養力養成講座、公務員試

					験対策講座、
岩村 聡	講師	修士(体育学)		体育関係	専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、基礎演習Ⅱ、スポーツサービス産業論、スポーツ経営学、地域スポーツクラブマネジメント、スポーツマーケティング論、地域スポーツ経営論演習、キャリアガイダンス
坂本 旬	講師	博士(経営学)		商学・経済学関係	基礎演習Ⅰ・Ⅱ、専門演習Ⅰ、文章理解Ⅰ・Ⅱ、経営入門、マーケティング、グローバル経営、サプライチェーン・マネジメント、公務員試験対策講座、教養力養成講座
南雲 勇多	講師	修士(開発教育学)		教育学関係	グローバル市民教育論 A・B、地域課題解決学 A・B
緑川 清美	助手			商学・経済学関係	

経済経営学部の担当教員一覧

http://shk-ac.jp/department_economic_teaching_staff.html

【健康福祉学部】

(H30.5.1 現在)

氏名	職位	学位	職名	専門分野	担当科目
宮本 文雄	教授	修士(教育学)	副学長 学部長 保健管理 センター長	社会学関係 (社会事業関係を含む)	基礎演習ⅠA・B、福祉環境論、少子高齢化社会概論、特別研究演習ⅠA・B・ⅡB
本多 創史	教授	博士(学術)	教務部長	社会学関係 (社会事業関係を含む)	基礎演習ⅡA・B、キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、権利擁護と成年後見制度、グローバル化と人的移動、社会福祉関係法論、国家試験対策講義、公務員試験対策講座
今野 久寿	教授	学士(社会福祉学)	学生副部長	社会学関係 (社会事業関係を含む)	キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、相談援助実習・指導、福祉行財政と福祉計画Ⅰ・Ⅱ、低所得者に対する支援と生活保護制度、介護の基本ⅠA・ⅠB、社会の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と自立、人間関係とコミュニケーション、社会福祉概論、相談援助演習Ⅲ
千葉 陽子	教授	学士(体育学)		体育関係	基礎演習ⅡA・B、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、スポーツⅠA、スポーツボランティア、スポーツ科学演習 B、障害者スポーツ論A、生涯スポーツ論
柳沢 民雄	教授	修士(社会学)		文学関係	英語ⅠA・B、基礎演習ⅠA・B、基礎演習ⅡA・B、英語ⅡB、上級英語ⅠB、英語と多言語的世界

菊池 義昭	教授	修士(地域政策科学)		社会学関係 (社会事業関係を含む)	福祉環境論、国家試験対策講義、児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度Ⅰ・Ⅱ、相談援助演習ⅠA・ⅠB・Ⅲ、相談援助実習・指導
矢本 聡	教授	修士(教育学)		教育学関係	コミュニケーションⅠ、精神科リハビリテーション学Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助実習・指導、精神保健福祉援助技術各論Ⅰ・Ⅱ、基礎演習ⅡA・ⅡB、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策講義、精神保健学Ⅰ・Ⅱ
大橋 雅啓	教授	修士(社会福祉学)		社会学関係 (社会事業関係を含む)	基礎演習ⅡA・ⅡB、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、更生保護制度、国家試験対策講義、精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ、精神保健福祉援助演習、精神保健福祉援助実習・指導、相談援助演習ⅠA・ⅠB・Ⅱ、精神保健福祉援助技術総論Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉論Ⅰ・Ⅱ、地域精神医療
松本 喜一	教授	修士(地域政策科学)		社会学関係	相談援助実習・指導、相談援助演習Ⅱ・Ⅲ、高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ・ⅡA・ⅡB、コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、介護実習Ⅰ・Ⅱ、生活支援技術Ⅰ・Ⅱ
坂田 勝彦	准教授	博士(社会学)	教務副部長	社会学関係 (社会事業関係を含む)	基礎演習ⅡA・ⅡB、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、生命倫理学Ⅰ・Ⅱ、家族関係論Ⅰ・Ⅱ、社会理論と社会システム、ターミナルケア、グローバル化と人的移動、社会調査の基礎、社会学
清水 茂徳	准教授	修士(社会福祉学)		社会学関係 (社会事業関係を含む)	キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、基礎演習ⅠA・B・ⅡA・ⅡB、精神保健福祉援助演習、精神保健福祉援助実習、セクシュアルヘルス、精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ、相談援助の理論と方法ⅠA・ⅠB、相談援助演習ⅠA・ⅠB
田中 みわ子	准教授	博士(文学)	学生副部長	社会学関係 (社会事業関係を含む)	キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、基礎演習ⅡA・B、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、障害者に対する支援と障害者自立支援制度Ⅰ・Ⅱ、コミュニケーションⅡ、就労支援サービス、障害の理解Ⅰ・Ⅱ
新田 さやか	准教授	修士(人間関係学)		社会学関係 (社会事業関係を含む)	キャリア演習Ⅰ・Ⅱ、基礎演習ⅡA・ⅡB、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、地域福祉の理論と方法Ⅰ・Ⅱ、福祉まちづくり論、相談援助演習Ⅲ、相談援助実習、相談援助実習指導、グローバル化と人的移動、相談援助の理論と方法ⅡB、相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ
金成 明美	准教授	修士(社会福祉)		社会学関係	基礎演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、専門演習(外書講読含む)Ⅰ・Ⅱ、介護過程Ⅰ、介護実習Ⅰ・Ⅱ、介護総合演習ⅠA・

		学)			I B、特別研究演習 I A・I B
林 悠太	講師	修士(体育学)		体育関係	基礎演習 I A・I B・II A・II B、専門演習(外書講読含む) I・II、スポーツコーチング I・II、リハビリテーション論、現代スポーツ論 I・II、指導のための理論と実際、チームケア論、健康スポーツ論、スポーツにおける情報戦略、グローバル化と人的移動、コミュニケーション II
志賀 恵子	講師			看護学関係	基礎演習 I A・I B・II A・II B、こころとからだの仕組み I A・I B

健康福祉学部の担当教員一覧

http://shk-ac.jp/department_welfare_teaching_staf.html

【東洋思想研究所】

(H30.5.1 現在)

氏名	職位	学位	職名	専門分野	担当科目
遠藤 孝紀	教授	修士(文学)	エクステンションセンター長	文学関係	基礎演習 I・II、キャリアデザイン、ビジネスガイダンス、日本語 II A・B、経済史
関沢 和泉	准教授	博士(言語学)	電算室長	文学関係	基礎演習 I、情報処理演習 I A・B、本学にみる東洋思想、日本社会理解 A・B、英語と多言語世界
三浦 健一	准教授	修士(公共政策学)		社会学関係	基礎演習 I、観光学入門、人間力の育成、地域課題解決学 A・B、本学にみる東洋思想
高橋 恭寛	准教授	博士(文学)		文学関係	基礎演習 I、文章理解 I・II、論語を学ぶ I、公務員試験対策講座

専任研究員紹介

http://shk-ac.jp/lab_touyou_researcher.html

【エジプト考古学研究所】

氏名	職位	学位	職名	専門分野	担当科目
菊地 敬夫	教授	修士(文学)		史学関係	
黒河内 宏昌	教授	修士(工学)		史学関係	

専任研究員紹介

http://www.shk-ac.jp/lab_regional_egyptian_info_01.html

■入学、卒業、修了及び進路の状況

①東日本国際大学のアドミッション・ポリシー

1. 本学の建学の精神を理解し、倫理観の高揚を図る意欲のある人
2. 社会人としての基礎能力を身につけ、その上に専門知識の習得を目指す人
3. 勉学およびスポーツ・文化・社会活動等を通して豊かな人間性を発展させたい人
4. 習得した知識や能力を活かし地域社会・国際社会に貢献する強い意欲を持っている人

②経済経営学部のアドミッション・ポリシー

1. 経済・経営の幅広い分野に興味を持っている人
2. 将来の社会人・経済人として必要不可欠な ICT や経営の知識とスキルを身につけたい人
3. 国際経済や地域経済に関心を持ち、その発展に貢献したいという強い意欲を持っている人
4. 社会に必要な基礎能力と自らの得意とする分野の専門知識の両方を高めたい人

③健康福祉学部アドミッション・ポリシー

1. 福祉の幅広い分野に興味を持っている人
2. 社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の国家試験取得を目指す人
3. 地域福祉の向上に貢献したいという強い意欲をもっている人
4. 福祉国家・福祉社会の発展のために、福祉の知識を広く社会で活かしたい人

④入学者数、専任教員一人あたりの学生数、定員充足率

(H30.5.1 現在)

学 部	学 科	入学者の状況		在校生の状況 (1～4年生)		専任教員 一人当たり の学生数	収容定員 充足率
		定員	入学者数	定員	在学生数		
経済経営学部	経済経営 学科	120	142	500	491	20.4	98.2%
健康福祉学部	社会福祉 学科	80	55	320	198	12.4	61.8%
計		200	197	820	689	17.2	84.0%

【別記】

学 部	学 科	在校生の状況		専任教員 一人当たりの学生数	収容定員 充足率
		定員	在学生数		
	留学生別科	80	45	22.5	56.3%

⑤社会人受入数、留学生数、留年者数

(H30. 5. 1 現在)

学 部	学 科	社会人 学生数	留学生数	留年者数
経済経営学部	経済経営学科	1	140	12
健康福祉学部	社会福祉学科	0	18	0
計		1	158	12

⑥入学生の推移

(H30. 5. 1 現在)

学 部	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
経済経営学部	104	146	122	133	142
健康福祉学部	30	26	55	66	55
計	134	172	177	199	197

【別記】

学 部	学 科	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
	留学生別科	48	160	97	45

*注：経済経営学部・健康福祉学部は平成 28 年 4 月、経済情報学部・福祉環境学部からそれぞれ名称を変更。

⑦退学者数、除籍者数、中退率、海外派遣 (平成 29 年度実績)

(H30. 5. 1 現在)

学 部	学 科	退学者数	除籍者数	中退率	海外派遣 学生数
経済経営学部	経済経営学科	20	11	6.9%	8
健康福祉学部	社会福祉学科	8	1	5.2%	2
計		28	12	6.4%	10

【別記】

学 部	学 科	退学者数	除籍者数	中退率	海外派遣 学生数	
	留学生別科	春学期	0	3	3.1%	0
		秋学期	0	0	0%	0

⑧卒業・修了者数、学位授与数、進学者数、就職者数（平成29年度実績）（H30.5.1現在）

学 部	学 科	卒業・修了者数	学 位 授与数	進学者数	就職者数
経済経営学部	経済経営学科	61	61	1	51
健康福祉学部	社会福祉学科	25	25	0	24
計		86	86	1	75

【別記】

学 部	学 科	卒業・修了者数	学 位 授与数	進学者数	就職者数	その他
	留学生別科	93	—	89	2	2

⑨進路状況（平成29年度実績）

学部	学科	卒業生数	就職希望者数	その他	就職者数	就職率
経済経営学部	経済経営学科	61	51	10	51	100%
健康福祉学部	社会福祉学科	25	24	1	24	100%

⑩主な進路先

http://shk-ac.jp/career_Job_data_date.html

■授業科目、授業の方法・内容・計画

①全学共通の教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 学生は全員、少人数のゼミ（演習）に全学年で所属し、担当教員は、初年次教育、基礎的専門教育、専門教育、卒業研究指導、就職活動支援などを通して、きめ細かな指導と対応にあたります。
2. 本学の建学の精神である儒学に関する知識・理解を深めるための科目を設定しています。
3. 語学や情報処理技術、国語力など社会人としての基礎力である汎用的コミュニケーションスキルに関する科目、文化、社会、自然科学、スポーツ等に関する一般教養科目を設けています。
4. キャリア形成・資格取得に関する科目を設け、学生が当初より自らのキャリア・デザインを描くことができるようにしています。

②経済経営学部の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教養科目と専門科目等を楔形に配置し、教養、共通専門基礎、専門等の科目の内容が有機的に結びつけられるようにしています。
2. 教養科目として、地域社会および国際社会で活躍できる人材の育成のために外国語、国語力・論述力の育成をはかる科目、学部の特性を考慮したユニークな科目を設定しています。
3. 共通専門基礎科目として、経済および情報に関する必修科目を中心にどのコースにおいても必要な経済経営の基礎的な知識と技術を習得できるようにします。
4. 専門科目として、各コースに特有の専門性の高い科目を配置し、専門的な知識と能力を修得できるようにします。

③健康福祉学部の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教養科目は、基礎的なコミュニケーションスキルや学習スキルを身につける科目のほか、視野を広げ人間洞察力を高めることにつながる科目で構成されています。
2. 共通専門基礎科目では、福祉援助を必要とする人々について学ぶとともに、社会福祉をめぐる基礎的知識・制度・思想・倫理などの理解を深めていきます。
3. 専門科目では、相談援助に必要な基礎的知識・技術・価値・倫理について学び、各自の進路に応じてこれらの知識・技術・価値・倫理を身につけていくことを目指します。
4. 専門科目の実習教育では、地域の福祉施設・機関との契約・連携のもと、相談援助活動の実際について体系的に学ぶとともに、実習先の選択は、将来の進路選択につながるように配慮しています。
5. 各学年の少人数ゼミでは、4年間を通して、主体的に学ぶ態度、積極的に発言する力及び討論を通して他者の考えを聞く力、興味ある課題を発見する力、課題を専門的に探求する力を育成します。
6. 国家資格である社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士を目指す学生を対象とした受験セミナーを開講しています。

<学 則> http://www.shk-ac.jp/info_profile_rule.html

<カリキュラム表>

経済経営学部 http://www.shk-ac.jp/department_economic_curriculum.html

健康福祉学部 http://www.shk-ac.jp/department_welfare_curriculum.html

④講義概要（シラバス）

経済経営学部シラバス

教養科目 http://shk-ac.jp/department_economic_curriculum.html#section01

共通専門基礎科目 http://shk-ac.jp/department_economic_curriculum.html#section02

専門科目 http://shk-ac.jp/department_economic_curriculum.html#section03

資格・教職課程等に関する科目

http://shk-ac.jp/department_economic_curriculum.html#section05

健康福祉学部のシラバス

教養科目 http://shk-ac.jp/department_welfare_curriculum.html#section01

共通専門基礎科目 http://shk-ac.jp/department_welfare_curriculum.html#section02

専門科目 http://shk-ac.jp/department_welfare_curriculum.html#section03

資格関連科目 http://shk-ac.jp/department_welfare_curriculum.html#section04

⑤履修モデル

学部・研究科等	修業 年限	必要修得 単位数	科目区分ごとの修得単位数				修得可能な 学位
			科目区分名	必修	選択必修	合計	
経済経営学部	4年	124 単位	教養	12 単位	4 単位 以上	30 単位 以上	学士 (経済学)
			共通専門基礎	12 単位	—	20 単位 以上	
			専門	20 単位	—	46 単位 以上	
健康福祉学部	4年	124 単位	教養	14 単位	4 単位	24 単位 以上	学士 (社会福祉 学)・ (精神保健福 祉学)
			共通専門基礎	14 単位	—	60 単位 以上	
			専門	16 単位	—	40 単位 以上	

⑥学年暦 http://shk-ac.jp/college_life_schedule.html

■卒業・修了の要件及び取得学位等

①全学共通のディプロマ・ポリシー

1. 建学の精神である儒学を理解し、義を行わんとする強い意欲と寛容の精神をもつこと。
2. 教養として文化・社会・自然等に関する知識や社会人として必要な語学・ICT（情報コミュニケーション技術）など汎用的な技術と能力を身につけ、社会人としての態度・倫理観・社会的コミュニケーション能力をもつこと。
3. 地域社会への貢献や異文化の理解と国際交流に努める能力と意志をもつこと。
4. これらの知識・技能・態度等を総合的に動員できる応用力・創造力をもつと同時に、生涯を通して学

習に励み教養を深めることができるようになっていること。

②経済経営学部のディプロマ・ポリシー

1. 社会や企業で活躍するために必要な国語力、基礎的な外国語力、ICT 駆使力を身につけ、コミュニケーションスキルが備わっていること。
2. 情報社会と国際経済情勢との関連や、経済経営に関する専門知識・理論・技能・倫理を理解し、応用することができること。
3. 授業およびスポーツ、ボランティア活動などの課外科目を通して自己規律とチームワークのもとで協働できる実践的能力を身につけること。
4. 国際経済ならびに地域経済の発展へ寄与し、社会人としての義務と責任を果たす意思と能力を備えていること。

③健康福祉学部のディプロマ・ポリシー

1. 社会福祉に関心をよせる社会人としての素養を身につけ、生涯を通して学習に励み教養を深めることができるようになっていること。
2. 社会や社会福祉領域の職場で活躍するために必要な日本語力、基礎的な外国語力等を身につけ、コミュニケーションスキルが備わっていること。
3. 国際比較の視点から各国の福祉環境（制度、施策、福祉文化）に興味をもち、あわせて異文化の理解と国際交流に努めようとする態度が備わっていること。
4. スポーツ、サービ斯拉ーニング、ボランティア活動等を通じて自己規律とチームワークのもとで協働できる能力を身につけていること。
5. 福祉専門職（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、その他）に必要とされる価値・倫理・知識・技術について理解するとともに、地域の福祉的課題に主体的に取り組む能力を身につけていること。

④取得可能な免許及び資格について

経済経営学部 http://www.shk-ac.jp/department_economic_qualification.html

健康福祉学部 http://www.shk-ac.jp/department_welfare_qualification.html

⑤学位授与・授与率

学部	平成 26 年度入学者数	平成 29 年度学位授与数	授与率
経済経営学部	104	61	58.6%
健康福祉学部	30	25	83.3%

■学生生活及び就職支援について

①教務部・学生部

教務部は、主に学生の入学・休学・退学・卒業に関する事務や授業及び卒業に関する事務を取り扱う。学生部は、学生生活を円滑に送るために、主に奨学金に関する事務や学生証、学生定期、学割等の発行に関する事務を取り扱う。

http://www.shk-ac.jp/college_life_support_procedure.html

②キャリアセンター

学生ひとり一人の将来の進路や人生における働き方や生き方を考え、目先の就職という“点”で考えるのではなく、人生の終焉までの“線”を通して考えてもらう支援をしております。具体的な実施内容として、下記の活動を行っております。

1. ゼミを中心とし、学生、保護者、大学が三位一体となった新しいキャリア教育体制を築く。
2. ゼミ担当者がキャリアセンターと連携し、各年次に応じたキャリア教育のアドバイザーとなり、キャリアに関する各学年のゼミ会議を開催すると同時に、保護者会等を通じて保護者への情報提供と連携を行なう。
3. キャリア講座および資格講座の充実を図る。
4. キャリアセンターにおいて求人開拓、キャリア教育、インターンシップ、就職相談、教員に対するキャリア教育等、キャリア関連の各種業務を企画・統括する。
5. キャリアセンターにおける情報システムの整備、ならびにキャリア・アドバイザーの活用を行なう。

http://www.shk-ac.jp/career_support_support.html

③保健管理センター

保健管理センターは、学生・教職員の健康の保持増進を図るため、定期及び臨時の身体測定、健康診断、並びに救急処置、各種健康相談（メンタルヘルス等を含む）、保健指導、健康教育、環境衛生及び感染症の予防についての指導等、その他健康の保持増進についての必要な業務をおこなうところです。

そのために、簡単な測定検査用具・救急処置薬品・衛生器材・休養ベッド等が設置されています。

詳細：http://www.shk-ac.jp/college_life_support_health.html

④学生相談室

本学学生・教職員の身体的な健康・心の悩み等さまざまな各種健康相談やメンタルヘルスの支援に応じています。

■その他の教育研究上の情報

①海外の諸学校との協定状況

・曲阜師範大学（中国）・曲阜師範学校（中国）・山東大学（中国）・安徽大学（中国）・香港孔教学院（中

国)・中国政法大学(中国)・大連民族学院(中国)・撫順師範高等専科学校(中国)・瀋陽体育大学(中国)・牡丹江大学(中国)・和春技術学院(台湾)・開南大学(台湾)・成均館大学校(韓国)・金浦大学(韓国)・世京大学(韓国)・カリフォルニア州立総合技術大学(アメリカ)・ハワイ州カウアイ・コミュニティカレッジ(アメリカ)・ファースト・グローバル・コミュニティ・カレッジ(タイ)

②イギリス語学研修実施

平成30年2月14日～3月16日、10名参加。

③社会貢献活動

本学は、「地域連携」を大学の理念とし、「地域に信頼され愛される大学」、「地域に開かれ貢献できる大学」、「『地域経済』『地域福祉』に関するシンクタンクとなりうる大学」を目指している。

1 「高大連携プログラム」

「高大連携プログラム」(大学と高等学校の間で協定書を締結して長期的な相互交流)は、高等学校サイドの勉学動機の不足、あるいは安易な資格取得志向などの悩みと大学サイドの優秀な学生の確保や高い勉学動機を持つ学生の確保などの悩みをも同時に解決するためのもので、その実施状況は下表のとおりである。

対象高等学校名	内容
県立・平商業高等学校 本学附属昌平高等学校	－高校生が本学の授業を大学生に混ざって履修するという形態 －当該生徒が本学に進学した際には、本学の単位(事前修得単位)として認定
県立・いわき総合高等学校	－教員が高校に出向く形態 －単位は高校側でのみ認定

2 「市民を対象としたプログラム」

「市民を対象としたプログラム」は次頁のとおりである。

「市民対象プログラム」の概要

プログラム名	内容
科目等履修生制度	単位認定を伴う社会人のための生涯学習の場(単位認定あり)。
市民開放授業	単位認定を伴わずに、市民に特定の講座を開放する(無料、単位認定なし)。
ふれあい出前講座	高校生を含む市民を対象に、求めに応じて本学教員が出向いて講

	義を行うもの(無料、単位認定なし)。
論語素読教室	毎週土曜日に学内の大成殿において一般市民と本学教員も関与した素読会。学生も参加できる。
いわきヒューマンカレッジ	市が主催する市民大学。本学は経済・福祉に関する内容を担当。
昌平図書館開放	市民開放として、平日は午後6時、土曜日は午後1時まで開館。 現在、いわき市内図書館(大学、高専及び市立)間ネットワーク利用が可能となっている。

③地域・産学官との連携

毎年いわき市「大学等と地域の連携したまちづくり推進事業」を実施し、市から委託された各種調査・研究事業を実施している。近年の実績としては、

1. 平成 23 年度「いわき市物産品および観光商品の高度化と体制整備による風評被害克服・地域活性化のための調査・実証実験事業」
2. 平成 24～25 年度「大型商業施設と地元産業(商業・農林水産業)に関する研究」、平成 25 年度「介護予防事業の効果検証と今後の方策について」、「授産製品の販路拡大と新たな商品・サービス開発」
3. 平成 26 年度「公園施設などを用いた興行によるシティーセールス、交流人口の拡大、地域経済波及に関する研究」

平成 24～25 年度には「第 4 次いわき市障がい者計画策定委託業務」を受託し、市内アンケート調査およびその結果を踏まえた計画策定を行った。

平成 25 年度には「オールスターゲーム・ふくしま復興祭開催による地域への波及効果に関する研究委託」事業を実施した。

平成 27 年度には「いわき市を核とした連携中枢都市圏構想に関する調査研究」を行った。

平成 29 年度から、地域と連携した課題解決型授業の充実を増やし、充実を図った。

④他大学との連携

平成 23(2011)年度から、いわき明星大学との連携による「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト(大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業)」を実施し、被災地の情報発信による観光まちづくり事業と被災障がい者自立支援推進事業を進めている。

福島県内の大学と単位互換協定を結んでおり、その受け入れについては「東日本国際大学特別聴講学生規程」として明文化されている。なお、本学の学生が他大学の講義を受講した場合にも互換協定等に沿って処遇されるが、今のところ実績は無い。

平成 21(2009)年度からは、福島大学が主宰する“アカデミア・コンソーシアムふくしま”に参画し積極的な対応を行っている。

平成 27(2015)年度からは、文科省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」「ふくしま

の未来を担う地域循環型人材育成の展開」に参加し、福島県内の高等教育機関4校が連携しながら、福島の地域を担う人材育成事業を展開しており、本学ではスポーツと福祉分野での地域連携に取り組んでいる。

平成30(2018)年1月から、福島工業高等専門学校と連携協定書を結び、東日本大震災により被災した福島県とその周辺地域の復興支援及び福島浜通り地域等に新たな産業の創出を目指す福島イノベーション・コースト構想の推進に資するため、教育・研究分野における緊密な連携・協力関係を構築している。

平成30(2018)年3月から、大正大学との連携協定書を結び、地域社会の振興・創世及び東日本大震災により被災した地域の復興に寄与するために、教育・研究・社会貢献分野における緊密な連携・協力関係を構築することに合意している。

■校地・校舎等 学生の教育研究活動の環境

所在地	〒970-8567 福島県いわき市平鎌田字寿金沢 37																														
主な交通手段	常磐線いわき駅下車																														
キャンパス概要	<p>【キャンパスマップ・アクセスマップ】</p> <p>http://www.shk-ac.jp/info_access_access_map.html</p>																														
運動施設の概要	<p>【機能・規模】</p> <p>○運動場 本学には、キャンパスに付設して第一運動場(鎌田石名坂)、弓道場、柔道場がある。また近郊に第二運動場(小川町大坂)と室内野球練習場が整備されている。</p> <p>○体育館 本学における体育館は、体育の授業のほか学内行事や式典等にも利用されている。</p> <p>これらの運動場施設の規模と用途は以下の通り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>用途</th> <th>面積 m²</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一運動場</td> <td>一般運動場・駐車場</td> <td>6,127.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第二運動場</td> <td>野球場・サッカー場</td> <td>53,972.57</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巒道館</td> <td>柔道場</td> <td>836.4</td> <td>330 畳</td> </tr> <tr> <td>屋内野球練習場</td> <td>野球</td> <td>1,851.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>弓道場・弓道練習場</td> <td>弓道</td> <td>97.78</td> <td></td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>授業</td> <td>1,694.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施設名称	用途	面積 m ²	備考	第一運動場	一般運動場・駐車場	6,127.5		第二運動場	野球場・サッカー場	53,972.57		巒道館	柔道場	836.4	330 畳	屋内野球練習場	野球	1,851.08		弓道場・弓道練習場	弓道	97.78		体育館	授業	1,694.4	
施設名称	用途	面積 m ²	備考																												
第一運動場	一般運動場・駐車場	6,127.5																													
第二運動場	野球場・サッカー場	53,972.57																													
巒道館	柔道場	836.4	330 畳																												
屋内野球練習場	野球	1,851.08																													
弓道場・弓道練習場	弓道	97.78																													
体育館	授業	1,694.4																													

課外活動の状況	<p>本学では、課外活動を通じて人間力あるいは社会人としての基礎力育成のため、学生が目的を持って自己実現をはかることについて、さまざまな支援を行っている。</p> <p>学生の課外活動には、学友会、運動部、サークル活動等がある。</p> <p>学友会は、学生自身による課外活動の主体となる学生の自治組織であり、活動費は学友会費により賄われている。主要事業として、①鎌山祭（学園祭）の実施（いわき短期大学と共催）、②いわき踊り（いわき市内）への参加、③卒業式に連動した謝恩会の実施などが挙げられる。</p> <p>学友会組織は、会長、副会長、会計等の役員と中心として、学生参加率の向上を図るため1～3年次ゼミと下記の強化指定部との連絡を密にしている。学生部長は学友会の顧問として指導を行っている。</p> <p>課外活動としての運動部は、①硬式野球部、②柔道部、③弓道部、④バドミントン部、⑤卓球部、⑥サッカー部、⑦吹奏楽部の7部が強化指定部として法人より指定され、高い実績をあげている。これらの強化指定部には、法人指定強化部に対する特別補助取扱要領に基づいて、技術力向上のための財政的支援を行っている。</p>
---------	---

■授業料・入学料その他の大学が徴収する費用

①学納金

http://www.shk-ac.jp/admission_fee_fee.html

②奨学金

種 類	要 件	申込方法
東日本国際大学奨学金	本学に在籍する学生で、学業成績、部活動成績、人物ともに優れた者で経済的理由により修学が困難な者に学資を給付する。	所定の願書に学費負担者と連署の上、必要書類を添えて申し込む。
福島県奨学金	大学に在学している福島県出身の学生で、品行が正しく、学術に優れ能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に奨学資金を貸与する。	所定の願書に学費負担者と連署の上、必要書類を添えて申し込む。
あしなが奨学金	保護者等が病気や災害（交通事故を除く）もしくは自死などで死亡、またはそれらが原因で著しい後遺障害を負	所定の願書に学費負担者と連署の上、必要書類を添えて申し込む。

	い、教育費に困っている者で大学に在学している学生に学資を貸与する。	
ロータリー米山記念奨学金	勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生で、受給年度に、学部課程3・4年目に在籍する留学生。	所定の願書に記載の上、必要書類を添えて申し込む。
平和中島財団奨学金	日本の大学に在籍する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ経済的理由により修学に困難がある者。	在籍する大学からの推薦により、書類選考する。
日本学生支援機構私費外国人留学生学習奨励費	日本の大学に在籍する私費外国人留学生で学業、人物ともに優れ経済的理由により修学に困難がある者に給付。	大学の長を通じて、機構理事長に推薦する。
日本学生支援機構	特に優れた者で、経済的理由により修学が困難な学生に学資を貸与。	大学の長を通じて機構理事長に推薦する。